

出題方針

新指導要領（小学校）のもと英語（教科）の指導目標に沿って学んだことが、**中学校での英語学習につながる基礎的内容として、小学校で行った活動や中学入学後の活動における場面や状況に即してどれだけ身につけているかを測る出題を行う。**

出題領域・技能の観点からは、小学校の指導実態に合わせて「**アルファベット**」の**理解・定着**と「**聞くこと**」を中心とした測定とする。

出題構成

※2020年度 | 年生第1回英語モニターの出題構成 より

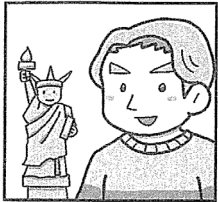
問題番号	大問名	小問数	配点	出題内容	技能等
1	アルファベット	8	8X2点=16点	相手の名前のアルファベットを聞き取り、綴りを書く(選ぶ)。 【場面・状況】海外の新中学生8人からのビデオメッセージ	(書く力)(聞く力)(読む力)
2	わかる・伝わる	2×4セット	2X4X4点=32点	・英文の内容を聞き取り、正しく表されているイラストを選ぶ。 ・聞きたい内容に合わせて使うべき文の要素を選び取る 【場面・状況】8人のうち4人の自己紹介について、個別に聞いてわかる、個別に尋ね返せる	(聞く力) 自分や家族について、好きなこと、できること、誕生日、一日の生活、行ってみたい国や地域、小学校生活の思い出、中学校生活でやってみたいこと、将来の夢・職業など
3	わかる・伝え合える	4	4X5点=20点	上記をシークエンスにつなげ、テーマ性をもってやりとりする。 【場面・状況】8人のうち残り4人とテレビ会議でつないだ設定で、あるテーマに沿ってリレー式にわかると伝えるを発展させる	(聞く力)(話す力) 異文化理解
4	考えて、伝える	2×2セット	4X5点=20点	・メモの内容を見ながら、述べられていることを過不足なく聞き取る。 ・述べられていないことを判断して適切な疑問文を選び取る。 【場面・状況】クラスメートから新ALTへの自己紹介を聞いて	(聞く力)(思考・判断・表現)
5	考えて、できる	3	3X4点=12点	自分の好みや条件と照らして、情報を聞いて課題解決。 【場面・状況】テイクアウト品の注文	(聞く力)(思考・判断・表現)

大問1 アルファベット

■ 2020年度モニター 大問1 問1

- 1 インターネットを利用した「国際中学生会議」にあなたを含めて9人の中学生が参加しています。はじめに、参加者が名前と出身国を自己紹介します。あなた以外の8人の名前として正しいものを、それぞれ次の1～3の中から一つ選び、番号を書きなさい。

問1



- 1 Bart
- 2 Bert
- 3 Birt

放送文：

Hello, I'm Bert. B-E-R-T, Bert. I'm from America.

出題のねらい



英語のアルファベットを、音声を聞いて正しく選ぶ力を問うている。本問では自己紹介の設定で、相手の名前前のアルファベット綴りを聞き分ける。今後も設定の工夫を行っていく。

大問2 わかる・伝わる

■ 2020年度モニター 大問2 問1 (2)

- 2 「国際中学生会議」の参加者9人の中学生のうち、4人が自分のことについて話します。問1～問4の各問題に答えなさい。

問1 (2)

あなたはバートに「一番好きなスポーツは何ですか。」と質問をすることにしました。そのときに必要となる語句の組み合わせをこれから放送する二つの組の1～3の中からそれぞれ一つ選び、番号を書きなさい。

(最初の組)

- 1 What is
- 2 Who is
- 3 Where is

(次の組)

- 1 your favorite event?
- 2 your favorite sport?
- 3 your favorite school?

(放送文：省略)

出題のねらい

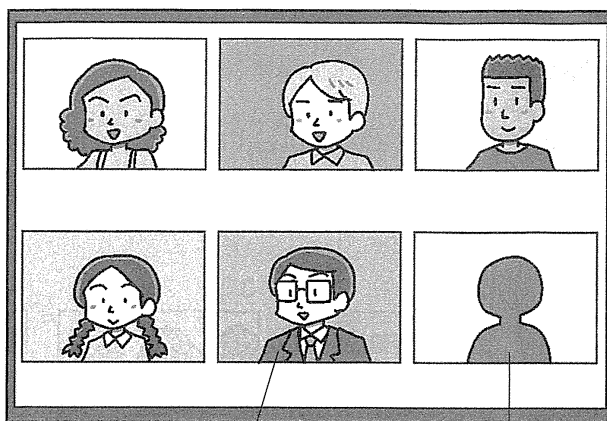


自己紹介につづいて、相手に関して知りたい内容を英語で質問する表現のしかたを問うている。「最初の組」「次の組」の組み合わせから、質問文の始め方と、それに続く質問の内容を組み立てられるかを測る。

大問3 わかる・伝え合える

■2020年度モニター 大問3 問1

- 3 続いて、「国際中学生会議」に参加している9人の中学生のうち、あなたを含めた5人の中学生が、インターネット会議で話します。参加者は、中学生5人と司会のホワイト先生の計6人です。問1～問5に答えなさい。



ホワイト先生

あなた

- 問1 司会のホワイト先生とオーストラリア人のジュディが話しています。音声聞いて、最後のホワイト先生の問いかけに対する答えとして合うものを、その後に放送する1～4の英語の中から一つ選び、番号を書きなさい。

21

- 1
2
3
4

放送文：

Mr. White: Judy, what do you want to be in the future?

Judy: I want to be a baker.

Mr. White: Why?

- 1 I don't like bread. 2 I want to be a cook.
3 My father is a baker. 4 I want to eat rice.

出題のねらい



前項(大問2)の内容を発展させて、英語で質問された内容に対して適切に応答できるかを問うている。与えられた状況や場面設定の中で、「あなた(=自分自身)」の立場だけでなく、相手や第三者の立場からも、内容や条件に即した応答を重ねることによって、さまざまなシチュエーションに応じた英語でのやりとりをする力を測る。